

SIFA ニュース

SIFA設立30周年！！



NO. 101

2019年度 夏号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

内 容

[案内]

- 協会設立 30 周年
 - 国際理解料理講座
 - フィリピン人講師の英会話教室
 - 鈴鹿市の在住外国人
- [報告]
- わいわい春まつり 2019
 - 多言語災害ボランティア研修
 - 日本語ボランティア養成講座

春号でもお伝えした通り、12月1日、13時半より鈴鹿市文化会館にて、SIFA設立30周年記念式典を行います。

これまで長くSIFAを支えて下さった関係団体及びボランティアのみなさまと共にこれまでの歩みを振り返り、また新たな未来に向けて出発する起点としたいと思っています。

式典では、SIFAボランティアさんの活動紹介と表彰、そして、ダイアン吉日さんを招いて、英語落語及び多文化共生に関わる講演会を開催する予定です。

国際交流を基盤とした若者の育成、及び、共生社会の推進においては、入管難民法改正による在留外国人の増加に伴い、協会の果たす役割は、これからますます増えて行くと思います。

改めてみなさまと目標を共有し、新たな一歩を踏み出したいと思います。協会設立30周年式典をどうぞお楽しみに。

スリランカ料理講座

スリランカの料理を作って、食べながらスリランカの文化・習慣のおはなしを聞けます。辛い物が苦手な方でも楽しめます。

と き：9月15日(日) 10:00~14:00

と ころ：鈴鹿市文化会館 調理室

メニュー：スリランカチャーハン、魚カツレツ、フルーツサラダ

講 師：ロヤラ フェルナンドさん (スリランカ出身)

定 員：32名 (先着順・賛助会員優先)

お かね：一般 1,500円、 賛助会員 1,000円

申込み：9月5日(木)までに、郵便番号・住所・名前・電話番号をはがき・

ファックス・メールで SIFA (〒513-0801 鈴鹿市神戸 1-17-5

Fax:059-383-0639 ✉sifa@mecha.ne.jp)へ

※9月6日(金)に案内状を送ります。



フィリピン人英語講師による夏休み英会話教室のご案内

夏休み期間中、フィリピン人英語講師による英語サマークラス8日間コースを開催します。

対象：小学生・中学生

日にち：8月/19日・21日・23日・25日・26日・28日・30日・31日

時間：以下の時間のいずれか（但し、8月4日は、10:00~11:30のみ）

10:00~11:00 / 11:15~12:15 / 13:30~14:30

14:30~15:30

定員：1クラス 6~8人

授業内容：私と家族/男子・女子の服装/形容詞/行動/エクササイズ/発音/テスト他

場所：鈴鹿カルチャーステーション（鈴鹿市阿古曾町 14-28）

参加料：（8日間）6,950円

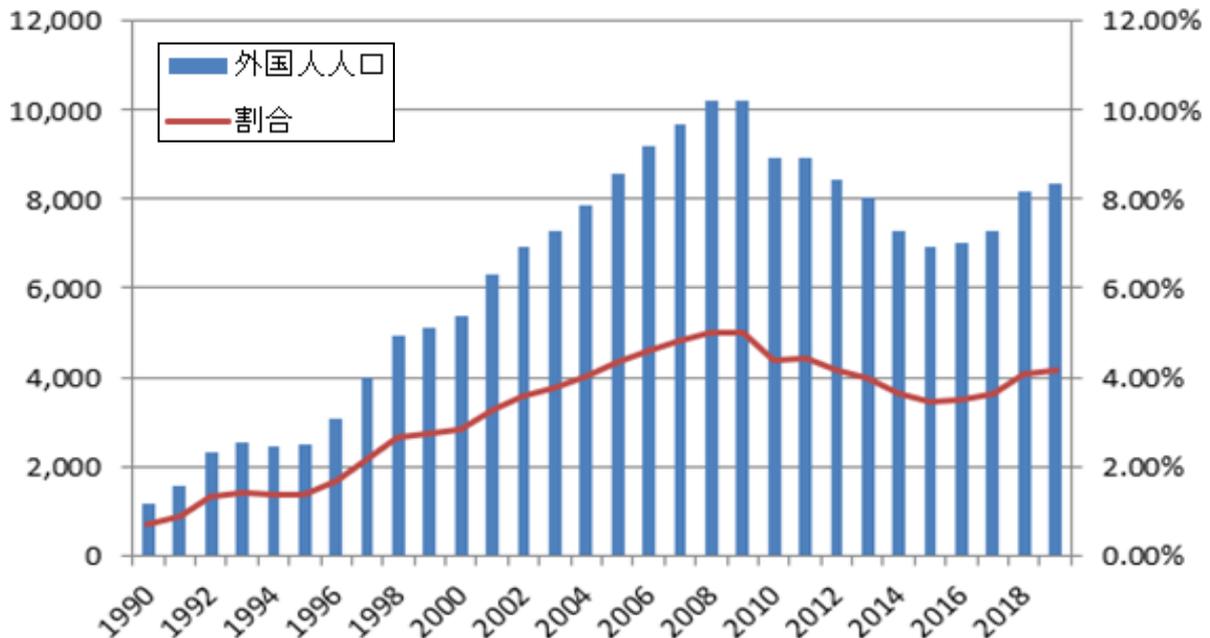
申込み：マリア先生 090-6643-9393

ネメ先生 090-9191-1664

*電話で、名前・年齢・住所・電話番号・学校名を伝えて下さい。

鈴鹿市の在住外国人

本年4月より入管法が改正され、今後外国人住民が益々増えると予想されています。これまでの推移と、現在の国籍別の人数を紹介します。特にベトナム人はこの8年間で約7倍と急増しています。



〔国籍別外国人数〕 2019.6.30 現在

1. ブラジル・・・ 3,063人	7. インドネシア・・・ 410人
2. パルー・・・ 1,194人	8. タイ・・・ 262人
3. 中国・台湾・・・ 999人	9. スリランカ・・・ 205人
4. フィリピン・・・ 577人	10. ポリビア・・・ 200人
5. 韓国及び朝鮮・・・ 561人	その他・・・ 412人
6. ベトナム・・・ 559人	合計・・・ 8,442人
	(55か国)

わいわい春まつり

4月14日(日)に鈴鹿ハンター&弁天山公園で開催しました。雨の予報が出される中、イベントの時間中はなんとか天気も持ち、約3,500名の方にご来場いただきました。

今年は新たな取り組みを2つ行いました。一つ目は、民族衣装のファッションショーです。外国人市民に応募していただき、その国の民族衣装や素敵なファッションの紹介をすると共に、日本での生活について生の声を聴く機会になりました。もう一つは、防災啓発コーナーです。起震車や鈴ともさんの防災クイズラリーの他、在住外国人への防災啓発には、NHKワールドの啓発トラックとどーもくんが来て会場を盛り上げてくれました。

初挑戦のクラウドファンディングでは57,000円集まり、素敵なファッションショーと子どもたちにバルーンを配布が出来ました。また、エスぺランサへの募金は学生ボランティア中心に行い、19,318円集まりました。ご協力頂きました皆様、ありがとうございました。



ファッションショー



オープニング



NHKワールドの啓発トラックとどーもくん



国際交流活動団体の紹介



起震車



ボランティアスタッフ

多言語災害ボランティア研修

7月13日(土)に鈴鹿市社会福祉センターにて多言語災害ボランティア研修を開催しました。

今回は、2016年の茨城県常総市で起こった鬼怒川決壊の際、現地で外国人被災者と支援者の間に立って活動されたキャリプマリシエルさんに講師を依頼しました。マリシエルさんのお話を少し紹介します。

当時、三重県国際交流財団にお勤めだったマリシエルさんに広域でタガログ語のできる支援者の要請があり、現地に入ったそうです。避難所ではほとんど外国人に出会えず、困っ

ている外国人に出会い要望を聞くために、隣の市の教会とつながり、2日間活動されました。普段から備えておくことが大変重要だと再認識され、三重に戻ってから自分の通う協会の仲間や周りの方に備えについて話されていたり、日本人だと「地震は怖いので対策をしっかりとしないと！」と考えがちですが、起震車に来てもらって仲間たちに「楽しい体験をしようよ」と呼び掛けられているそうです。



多言語での情報発信の流れ

- ①市の防災危機管理課からメール配信
- ②SIFAより登録ボランティアに翻訳のお願い
- ③翻訳できる方は、その旨をグループに返信
- ④翻訳できたものをグループメールに配信
- ⑤Facebook等で拡散(リンク・直接)

今後、SIFAでは市の防災訓練や社協の災害ボランティアセンター設置運営訓練等へボランティアの皆さまと参加していくと共に、エリアメールや台風時の大雨や土砂災害の情報を翻訳し左の様な流れでFaceBookにて発信していきます。

また、このような研修も定期的に進めていきたいと思っておりますので、よろしければご参加ください。

日本語ボランティア養成講座を開催しました

5月18日から6月15日まで5週にわたり、ジェフリー鈴鹿にて開催しました。

一日目は、鈴鹿市市民対話課長の實義氏から市の外国人受け入れ状況説明や、ボランティア教室 AIUEO の坂氏から教室の紹介と活動のやりがいを教えていただきました。その後、日本語で日本語を学ぶ外国人の気持ちを理解するためフランス語でフランス語を学ぶ講座を鈴鹿大学のヴェドリヌ・ウィリアムさんにいただきました。

2週目から5週目までは、日本語を学ぶ外国人の学習について、世界中で使われている日本語教材「みんなの日本語」を使って、体系的に学びました。

国語と日本語との違いからはじまり、名詞文・動詞文・形容詞文について学んだり、副教材の使い方や助詞について考えました。

後半では、模擬授業にも取り組み、教える為の準備や授業展開について考える事もできました。

時間の限りもあり、講座ですべては伝えられませんが、皆さまが地域の教室で日本語支援活動を通じて地域に住む外国人とふれあえる事を願っています。



公益財団法人鈴鹿国際交流協会 (SIFA)

〒513-0801 鈴鹿市神戸1-17-5 別館第3 TEL: 059-383-0724 FAX: 059-383-0639

✉ sifa@mecha.ne.jp URL: <http://www.sifa.suzuka.mie.jp>